

寒さの中にも、暖かな春の日差しが感じられる佳き日となりました。今日私たち138名はこの純心女子高等学校を卒業します。3年前の春、期待と不安を胸にいただき、入学式に出席したことを今でも鮮明に覚えています。あの日から瞬く間に時は流れ、今日という日を迎えました。

現在、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。また、異常気象に伴い、自然災害が多く発生しています。日本でも、大雪や大雨、台風などが頻発するようになり、50年に一度という言葉を経験も耳にしました。さらに、貧困、差別、飢餓に苦しむ人が多くいます。このような状況でSDGsという世界共通の目標がかかげられています。次の世代を担う私たちは、社会の動きを自分自身の問題として考え、社会の一員として行動しなければなりません。

私たちの高校生活は、新型コロナウイルスの影響を受け、体育大会、学園祭、高総体、修学旅行が中止や延期、規模縮小となり、思い通りに過ごすことができない日々が続きました。しかし、先生方が研修旅行を企画してくださったり、学園祭を可能な範囲でどのように実施できるか、クラスの仲間たちと意見を出し合い、どのような状況になっても対応し、考え動くことを学びました。そして、私たちの普段の生活は多くの方々を支えられていることに気づきました。

また、私はこのコロナ禍の状況で、自分が興味のある国際社会での知識を増やそうとオンライン講座に多く参加しました。その中のネパールで活動されている日本人の「もし世界の貧困が解決されて、インド人15億人が車を持てるようになったら、世界の石油はなくなり、先進国の私達の今の生活はなくなる」という言葉に衝撃を受けました。ひとつの問題解決が、新たな問題発生へと繋がることに気付かされました。オンライン講座では、他県の高校生との交流もあり、しっかりと自分の意見を持っていたり、相手の意見を批判的に捉えるのではなく、多面的に考えていたり、刺激を受けた場でもありました。これらのことが私が進路を決めていく上での主軸隣、国際社会で活躍できる人になりたいという私の気持ちをより一層高めました。

私は高校3年間の中で、部活動と学習面のどちらにも力を入れました。部活動ではバレーボール部で、周りにいる人の思いを大事にしてプレーし、そのために目の前のことを全力ですることの大切さを学びました。チームとして苦しい時もありましたが、チームの仲間や周りで支えてくださった方々のおかげで今までやっていくことができました。顧問の先生にはプレーの面だけでなく、当たり前のことを当たり前にすることやこれから生きていく上での大切な考え方を教えていただきました。学習面では、通学時間や休み時間を利用して、自分で時間を作るようにしました。また、わかるまで教えてくださったり、遅くまで残って補講授業をしていただいた先生方のおかげで今まで頑張ることができました。そして、3年間いつも支えてくださった担任の先生のおかげでどんなことも乗り越えられました。この3年間で先生方に教えていただき、学んだことを決して無駄にせず、自分の夢に向かって努力を重ねていきます。

3年間一番近くで支えてくれた家族には、言葉では言い表せない感謝の気持ちで一杯です。両親には、私がきついときにはいつも助けてもらい、また頑張っていく力をもらいました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、本日はこのような状況にも関わらず、卒業式を開催していただきまして、ありがとうございました。私たち3年生は、これからそれぞれ異なる道に進みます。異なる道ではありますが、それぞれがこの純心で学んだことを活かし、1人の女性として純心の名に恥じぬよう、ここでの恩を社会に還元していきます。これまで支えてくださったすべての方に感謝申し上げます。答辞とさせていただきます。

令和4年2月19日  
卒業生代表